



2月の行事予定

15日(火) 避難訓練
25日(金) 新入園児説明会

※誕生会はまん延防止重点措置期間中のため、延期します。

3月の行事予定

3日(木) 誕生会 ひなまつり
8日(火) 卒園旅行(5歳児)
11日(金) 健脚活動
14日(月) 避難訓練
17日(木) 卒園式
30日(水)～31日(木) 自由登園



※行事については新型コロナウイルス感染症等の状況により変更する場合があります。

はな組が選ぶ！流行ったあそび

布玩具のエンドウ豆を洗濯バサミで挟んでつるしています。大小あり、それを取るには引っ張らないと収穫できません。最初のうちは保育者に「うん、うん」と言って取ってほしいことを伝えていましたが、今では力の入れ方も分かり、自分で取っていて、手が届かないとつま先立ちをして収穫しています。豆を保育者、友だちに渡すやり取りも楽しいようです。この光景が見えるのは何故か昼食後です。不思議ですが今も続いています。

岡村 里恵



つき組編 今月の製作

小さいペットボトルにキラキラのスパンコールとパールおりがみ(半透明で水に濡れても破れないおりがみです)を入れて、さらに水と洗濯のりも入れるとスノードームならぬスノーボトルができます。蓋を閉めて上下に振ってみるとキラキラが水中で漂い、こどもたちも思わず「きれい」とつぶやいていました。

井上 隆雄



とんど

新年のお飾りや、書初めをお焚き上げしました。はやす様子を見ながら両手を合わせてお願い事をするこどもたち。

炭を友だちや職員の顔に塗って笑い合いました。今年も一年みんなが健康で笑顔で過ごせますように。



やまびこだより



社会福祉法人岡山こども協会 とよた保育園

赤磐市松木549 TEL 995-0244

令和4年2月5日発行 286号



自分で決めることの大切さ

岡山県内で新型コロナウイルス感染者が急増しています。こどもたちに改めて感染対策を伝えると共に、職員も感染症対策を再度見直しています。今できることは何かを考えながら、おかれている状況を少しでも楽しみに変えていきたいです。保護者の皆様には、さまざまなお願いについてご理解、ご協力ありがとうございます。

さて、ほし組は中央遊具や遊具舎で遊べるようになりました。中央遊具の網ネットは「やりたい」という子で、列ができています。あっという間に登る子もいれば、いざやってみると「怖い」「難しい」と不安定な場所に恐怖心を感じ、身体の使い方がわからず「降りたい」という子もいました。その姿を見て、こどもたちが自分の身体や力と相談し、自分がどこまで大丈夫なのかを考えながら登っているのだなと思いました。大人としての経験から大切なことは何かを伝えることはあっても、一人ひとりの限界は大人が決めるのではなく、こども自身が経験し、実感する中で、考えながら決めていきます。その自己決定する力をこどもたちはもっています。つい、大人は手助けをしてしまいがちですが、失敗することも経験のひとつ。そのことが「次はこうしてみよう」という学びにつながります。また、登れた子は「こうやったらできるよ」と友だちに伝えます。ちょっと不安な時は友だちと一緒にならでできることもあるかもしれません。

多様性のある社会を作ることが大切だと言われていますが、そういった社会を作るためには自己決定する力や共同性は必要だと感じます。私たち大人はこどもに指示をしたり先取りして伝えるのではなく、年齢に応じてこどもの行動を見守ったり、選択肢を示し聞いたりしながら関わることを大切にしたいです。

角田 真理



とよた保育園ホームページ URL とQRコード
<https://toyota.okayamakodomokyukai.jp>



今月のベストショット川柳～食育編～

そら組



いざいざ

お腹と相談

食べる量

ほし組



考える

作り手の気持ち

手を加え

つき組



元気の素

たくさんあるよ

栄養が

にじ組



こんどは

葉っぱの下に

みつけたよ

ゆき・はな組



変化が見えて

気づきあり

スライム

職員紹介 ～私の日課～

私の日課は家に帰ってから“ばんばんざい”や“ESPOIR TRIBE”のYouTubeを見ることです。私は笑うことが好きで、見るたびに爆笑しています。いつも見るYouTuberは同じですが、「次の日、どんな動画が出るのだろうか？」とワクワクしたり、時々、続きがあるため、「早く展開が見たいな」と待ち遠しかったりします。



逸見 祐紀

私の日課は毎朝ラジオを聞くことです。聞くことによって想像力が働き、各種音楽が楽しめたり、料理の新メニューが登場したりと新鮮な情報が満載で楽しいです。



西田 啓子

～編集後記～

とんどの時の裏話。実は保育園にししまいがやってきたのですが、ししまいが現れた瞬間、はな組ゆき組のこどもたちが大泣泣。それにつられたのか、年長であるそら組の子も数名涙が出て大泣泣。なぜししまいに頭を噛んでもらうのかを伝えたのですが、「嫌じゃ嫌じゃ」の一点張りでした。大きくなっても苦手なもの、怖いものは誰にでもあるものですね。

井上 隆雄

